

相馬市立中村第一中学校だより



螢雪の功

令和6年10月15日発行

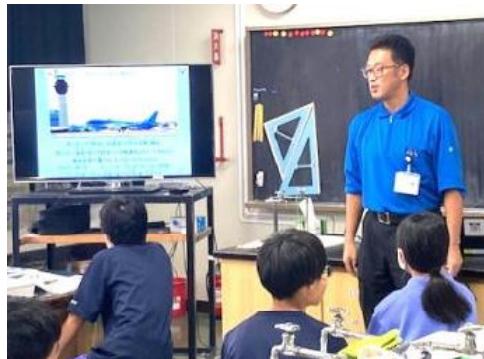
文責 高瀬 永志

それぞれのテーマで深掘りする学習

生徒会や実行委員会を中心に螢雪祭の企画・準備が進んでおり、合唱コンクールにむけて各クラスが練習に一生懸命取り組んでいる日々です。今、それと同時に来月の総合的な学習の時間の研究発表会に向けて、各学年で探究学習に力を入れています。3年生は相馬市の未来を思い、課題解決や発展のために何ができるのかを考え、自分たちが興味をもって調べ、思いついた発想、アイデアなどをまとめて、地域の方々に向けて発信する学習活動をしています。これまでの相馬市企画政策部やイノベーションコース構想の方々から聞いた話などを参考にしながら、地域の持続可能な発展のために、何ができるのかを追究して考えたことをまとめ、発表できるように準備しています。2年生も職場体験やキャリア教育、1年生は震災・防災学習から学んだことを通して、個人テーマを持ち、研究したことを発表する予定です。ご案内は追っますが、午前中に全員の発表、午後に代表生徒（グループ）の発表を計画していますので、ご都合がよろしければ、ぜひご覧ください。



テーマについての情報収集のため、電話取材をする3年生



I H I 出前講座

毎年相馬市内の1年生を対象にI H Iの職員の方々に出前講座を実施していただいている。航空エンジンやロケットなど壮大な事業を展開している会社の方々から直接、ジェットエンジンのしくみなどを教えていただくことは貴重な学びであります。今回も、自分たちでもエンジン模型を制作して、楽しく実験することができました。宇宙までロケットなどを飛ばす技術も、子どもたちが学校で習っている基礎的な科学の知識の一つ一つがつながっていて、それが積み重なって宇宙にまで届くものになっていくことを体験的に学びました。子どもたちの科学への興味を高まることだと思います。

大舞台での経験は次へのステップ

9日にはいわき市で行われた県大会に、女子特設駅伝部が出場しました。あいにくの雨で、肌寒いコンディションでありましたが、各地区の代表選手と熱い走りで競い合いました。各地区を勝ち抜いた高いレベルの競争のなかで、本校の子ども達は最後まであきらめることなく、力強く走り抜きました。今までの長い期間の練習で、苦しいこともあったと思いますが、最後までやりきった子ども達に拍手を送ります。

また、11日には喜多方市で吹奏楽部が県小中学校音楽祭「第2部合奏」に出場しました。夏のコンクールでは涙を飲んだ吹奏楽部は、その後も練習に励み、9月の相双地区大会を勝ち抜き、今回の大会に進みました。県のステージではみんな堂々と心を込めた演奏を披露してきました。今までずっと日々演奏技術を磨き、課題曲を作り上げる努力を積んできました。仲間とともにがんばってきた日々から得たものは大きいことでしょう。その努力に拍手を送ります。

今週の予定

- 10月15日（火）中高連携事業 3年英語 ※螢雪祭準備のため短縮授業（～24日）
- 16日（水）PTAあいさつ運動 7:30～ 職員会議 ノーブル活データー
- 17日（木）放射線教室 2年
- 18日（金）生徒会専門委員会 漢字検定（希望者）

